理科学習指導案

実　施　日　平成２３年８月３１日
実施クラス　１年２組(３校時)
授　業　者　　榎本　修

１　指導単元

身のまわりの現象

２　授業改善のポイント（言語活動の充実の観点から）

・わからない生徒に教え合える環境をつくる。
・自分の意見や考えをしっかり言えるような授業を展開する。

３　本時の授業

（１）本時のねらい

・凸レンズによってできる像の位置、大きさ，向きの作図ができているか復習する。
・音が物体の振動によって生じること、音が聞こえるために、空気など、音を波として伝える物質の存在が必要であることが説明できるようにする。

（２）本時の展開

	学　習　内　容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点（評価）
導入	・凸レンズによる像の作図（復習） ・おんさを使う	・机間指導して教えあえている確認 ・おんさの振動の様子を見せる。	・２つのおんさを使って、振動が伝わるか予想させる。	・作図ができるようにする。
展開	・２つのおんさの間に板を置いて、振動がどう伝わるか考えさせる。 ・空気が振動して音を伝えていることをわからせる。 ・音を伝える物体、音の速さを説明できるようにする。	・発問する。 ・意見をださせる。 ・発問を多くして、自分の考えを表現させる。	・予想を発表する。 ・音と空気の振動が結び付く。 ・物体によって音が伝わる速さが違うことが分かる。	積極的に発言できるようにする。
まと	問いを行う。	机間指導する。	・問いができる。	